

みなさんからのよくある質問をまとめました。

Q1	なぜクリスタルプラザという名前なのですか。
A1	クリスタルのようにキラキラと美しく透明で開かれた施設であるようにと名づけられました。
Q2	クリスタルプラザでは何人が働いていますか。
A2	約 70 名働いています。
Q3	臭いの対策はしていますか。
A3	活性炭という臭いを吸収する薬を使って抑えています。また、エアカーテンという機械で空気の膜を作り、臭いが漏れないようにしています。
Q4	クリスタルプラザを建てるのにどれだけのお金が必要でしたか。
A4	約86億円かかりました。
Q5	焼却炉の燃料は何ですか。
A5	火をつける時だけ灯油を使って火を付けます。それ以降はごみを燃料として燃え続けます。
Q6	クリスタルプラザでは燃やした熱は再利用していますか。
A6	給湯や洗濯物の乾燥に利用しています。
Q7	スラグは今作っていますか。
A7	作っていた時もありましたが、現在は作っていません。
Q8	どうしてひょうたんの絵が煙突に書かれているのですか。
A8	長浜市のシンボルマークだからです。
Q9	クリスタルプラザができる前はどのようにして可燃ごみを処分していたのですか。
A9	今クリスタルプラザが建っている土地に清掃工場という前身の焼却施設があり、そこでごみを燃やしていました。
Q10	クリスタルプラザはどのようにして街中に建っているのですか。
A10	清掃工場ができた後から周囲が発展していきました。
Q11	焼却炉は火事にならないのですか。
A11	焼却炉の中は耐火レンガを使い、火に強い作りになっているため、火事にはなりません。また、高い温度にならないよう調整しています。
Q12	一番多いごみは何ですか。
A12	可燃ごみです。(【令和 2 年度実績】可燃ごみ:34,518t、不燃ごみ:3,444t、粗大ごみ:2,641t、資源ごみ:5,507t)
Q13	1日でどれだけの可燃ごみが出ますか。
A13	約 140t(34,518t÷247(搬入受入日数)=139.7)
Q14	何台の車で収集していますか。
A14	33 台
Q15	間違えて違う種類のごみが混じっている場合はどうするのですか。
A15	イエローカードというシールを貼って収集しません。
Q16	どの月が一番ごみが多く出ますか。
A16	令和 2 年度は 5 月が一番多かったです。また、6 月、7 月や 12 月も多くのごみが出ました。

Q17	収集で危ないことはありませんか。
A17	指定袋の中にむき出しの刃物が入っていて怪我をしたり、スプレー缶が爆発して車両火災になることがありました。
Q18	どうして指定袋は普通の袋より高いのですか。
A18	指定袋には収集・処理費用の一部が含まれているからです。
Q19	仕事をしていて困ることはありませんか。
A19	分別されていないごみが出されていることです。
Q20	センターのシンボルマークの R は何を示しているのですか。
A20	センターの「信頼」(Reliance)と「3R」(Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル))を表すと同時に、びわ湖の形を表しています。(●がセンターの位置を示しています)
Q21	仕事時間は何時から何時までですか。
A21	事務や収集:8時30分~17時15分 焼却運転管理:24時間(交代しながら)
Q22	ごみを燃やすのにどれくらいの時間がかかりますか。
A22	ごみピットに投入してから灰になるまでに約2時間かかります。 1炉運転で1時間に約3.5tのごみを燃やすことができます。(84t/日)
Q23	1日にどれだけの可燃ごみを燃やしていますか。
A23	約100t。 ごみの多い時期には、2炉使ってごみをたくさん燃やし、それ以外は1炉を交代しながら使っています。
Q24	ごみは何種類に分別していますか。
A24	14品目に分けて回収しています。
Q25	燃やしたごみはどうしているのですか。
A25	ごみを燃やしたあとは、灰になるので、毎日大阪湾に運んで埋め立てをしています。
Q26	燃やしているときの煙はどうなりますか。
A26	悪いガスはバグフィルターで取り除いて、無害な水蒸気だけがえんとつから出ています。
Q27	パッカー車にはどのくらいのごみが入るのですか。
A27	最大2000kg(2t)のごみを入れることができます。
Q28	パッカー車は一日どのくらいの距離を移動しますか。
A28	1日平均100km走行しています。 一番遠いところは、長浜市では中河内(片道35km)、米原市では甲津原(片道27km)まで収集に行っています。
Q28	ごみの収集日はどうやって決めているのですか。
A28	可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチック製容器包装、資源ごみ、粗大ごみが重ならないように、また効率良く収集できるように自治会ごとに収集日を決めています。
Q29	住む場所によってごみを出す日が違うのはなぜですか。
A29	長浜市、米原市には約2500箇所の集積所があるため、収集地域と収集する日を分けて、効率良く収集を行うため。

Q30	ごみ袋の種類が違うのはなぜですか。
A30	ごみを出す種類ごとに収集する人が一目でわかるようにしています。 また、可燃ごみと不燃ごみでは出すごみの種類が違うので、袋の強度に差をつけています。 (不燃ごみは、重たい物や尖がった物を入れることが多いので強く作っています)
Q31	不燃ごみや粗大ごみはどうやって処理していますか。
A31	機械を使ってごみを小さく砕き、燃えるごみ、リサイクルできるごみ、埋め立てるごみに分けて、処理をしています。